学校番号	203

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ（理系）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「改訂版　現代文Ｂ」　（数研出版）						
副教材等	・「三訂版 共通テスト対策 現代文完答 22」（尚文出版） ・「TOP2500　三訂版」（いいずな書店） ・「新版七訂 新訂総合国語便覧」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年間の学習の集大成として、社会に出てからも必要となる幅広い視野と論理的かつ柔軟な思考力のもととなる国語力をしっかりと身に付けましょう。
・自分の考えを文章にしたり、文章を要約したりすることのほか、グループでの話し合いや発表など、授業を受ける側の主体的な活動を通して、「読む能力」を向上させるとともに、「話す・聞く能力」や「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

2　学習の到達目標

・様々な文章を的確に理解し、適切に思いや考えを表現する能力を高める。
・様々なテーマを扱った評論を数多く読むことにより、物事に対する様々な視点からの見方があることを学び、論理的で柔軟な思考力を育成する。
・明治から現代までの優れた小説を読み味わうことにより、登場人物の心情を理解し豊かな想像力と言葉に対する感性を磨くとともに、人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容化	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論	教材: 「文化が違う」とは何を意味するのか？ (岡真理)	○			◎	○	a:意味段落ごとに何が述べられているかまとめられる。 d:筆者の言う「文化相対主義」とはどのようなことか理解する。 e:文章の組み立て、語句の意味、語句の用法を理解して読解している。	a:行動の観察 d:記述の分析 e:記述の点検及び定期考査
		教材: 知識社会という幻想 (西垣通)	○			◎	○	a:世間一般の「知識社会」のとらえ方について理解している。 d:「譲歩」→「逆説」という構成をふまえ、筆者の主張する「知」の在り方について理解している。 e:「イデオロギー」といった本文のテーマに関わる語の意味を正しく理解している。	a:行動の観察(発言) d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	小説	教材: 「舞姫」(森鷗外)	○	○	○	◎	○	a:表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。 b:作品を読んだ感想を互いに発表しあい、理解を深めている。 c:作品を読んだ感想を文章にまとめて理解を深めている。 d:情景や描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。特に、日本の近代と個人の生き方との関係について考えている。 e:文語体や難解な語句を的確に理解し、作者の思想や作品について理解を深めている。	a:行動の観察 b:発言・発表 c:記述の分析 d:発言や記述の分析 e:発言や記述の分析及び定期考査
2学期	小説	教材: 「檸檬」 (梶井基次郎)	○	○		◎	○	a:「私」の心理の変化をまとめながら、自分にも同様の体験がないか、考えている。 b:読後感を発表しあい、理解を深めている。 d:檸檬によってもたらされた「私」の幸福感について理解している。 e:現代ではあまり使われない語彙などを正しく理解している。	a:行動の観察(発言) b:発言・発表 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査

	評論	教材: 人はなぜ働かなくてはならないのか (小浜逸郎)	○			◎	○	a:論理的なものの考え方を積極的に身に付けようとしている。 d:人間が「社会的存在」であることをふまえ、働くことの意義を理解している。 e:語句の意味を適切にとらえ、語彙を豊かにできている。	a:行動の観察 d:記述の分析 e:記述の分析及び定期考査
	評論	教材: 顔の所有 (鷲田清一)	○			◎	○	a:文章の展開と構造を正確に理解しようとしている。 d:筆者の哲学的思考を丁寧に読み取り、「顔」のもつ意味を考え、理解している。 e:筆者独自の表現の特色をとらえる。	a:行動の観察 d:発言や記述の分析 e:発言や記述の分析及び定期考査
3学期	評論	教材: 「無常ということ」 (小林秀雄)	○			◎	○	a:筆者の考え方に関心を持っている。 d:「無常」に対する筆者の主張を理解している。 e:「無常」というキーワードの意味を、具体例と結びつけて正しく理解している。	a:行動の観察(発言) d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付け、また、その単元で主として扱う観点には◎印を付している。